

テーマ名 グローバル人材育成のための、地域・保護者との連携による「グローバル（グローバル＋ローカル）」な取り組み

学校名 北海道上ノ国高等学校 校長 木幡かおる

担当者 草瀬みちほ

## 1 趣旨・本校のESDの特徴

- (1) 異なる言語、文化、価値を超えて持続可能な社会の実現に向けて、グローバルな視野を持って、ローカルで主体的に活動する人材の育成
- (2) 世界の諸問題に着眼し、主体的に課題を発見し、解決の実践をするため、語学力や教養、人間性を高めようとする人材の育成

## 2 活動・全体計画

### (1) ESD委員会の設置

平成25年度ユネスコ・スクール認定を受け、上ノ国町の経済的支援の下に実施してきた海外研修の取組と統合し、日常のかつ継続的なESD実践の企画と運営をする校内委員会として設置した。

### (2) K E E P (Kamiko English Education Project) の立ち上げ

第二言語としての英語をツールとして、より幅広い教養と専門性を高める課外活動とし、参加登録生徒を「KEEPER」とした。

## 3 活動事例

### (1) 異文化理解をテーマとした授業（英語科・家庭科）

- ア 教科横断調理実習
- イ A L T の異文化プレゼンテーション

### (2) 国際理解授業（英語科）

- ア 「世界一大きな授業」
- イ 「世界がもし100人の村だったら」
- ウ 「新・貿易ゲーム」
- エ 小中学校への英語劇出前授業

### (3) 国際貢献活動（課外活動・英語科授業）

- ア 国際募金活動
- イ U N I Q L O 社との協働「届けよう、服のチカラ」事業へ参加
- ウ 教科横断古着リメイク

### (4) 海外研修（地域の経済的支援による毎年5名の派遣）

- ア ニューージーランド研修
- イ 小中学生を招待しての研修報告会

## 4 成果と課題

### (1) 成果

- ア 「英語の勉強が好き」な生徒の増加

平成27年度北海道高等学校学習状況等調査では、質問項目「英語の勉強が好きだ」

に対して「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた生徒が81%となっている。全道が53.3%、本校の前年度が65%であることを鑑みると、効果は顕著である。

イ 生徒の語学力向上  
 全校生徒数に対する受検者数の比率が高い学校に与えられる日本英語検定協会奨励賞を平成27年度に受賞した。

ウ 国際貢献、災害支援活動の継続による自己有用感の向上（生徒が主体的に実施）

エ 卒業後の留学志望者

昭和62年開校以来初めて、平成27年度卒業生1名が進路として留学を選択した。今年度も1名が留学を希望している。

(2) 課題

ア 国内の同様の活動を行う他校との情報交換・交流による連携

イ 海外で同様の活動を行う同世代との情報交換・交流による国際交流

ウ 教職員の研修によるグローバル人材育成のための指導力向上

【参考資料1】「世界一大きな授業」

|                                 |  |
|---------------------------------|--|
| <p>『世界一大きな授業』事務局作成のポスターより抜粋</p> | <p>3年生が行った模擬国際会議の様子は、『世界一大きな授業』事務局作成のポスターに掲載された。</p> |
|---------------------------------|--|

【参考資料2】小中学校への英語劇出前授業

|  |  |  |
|--|--|--|
|  |  |  |
| <p>世界最貧の架空の国が舞台上、女性だからという理由で学校に行くことが許されない10代の少女が、駐留している国際機関の女性医師との出会いと助言により教育を受けて自立して医師になる、オリジナル英語劇“My School Dream”を上ノ国中学校2、3年生を対象に上演。上演後には劇の内容に関するクイズ・アクティビティーを実施した。</p> |  |  |

【参考資料3】国際募金活動



北海道新聞 H28. 7. 6 掲載記事



北海道新聞 H28. 4. 26 掲載記事

熊本地震募金活動、アクリルたわし販売によるカンボジア井戸建設募金活動はとも予告記事が北海道新聞に掲載され、募金活動実施日は多くの買い物客や地域住民が募金に協力した。熊本地震募金活動は生徒会長の呼びかけで全校生徒が一丸となって実施した。

【参考資料4】UNIQLO社との協働「届けよう、服のチカラ」事業へ参加



北海道新聞 H27. 11. 19 掲載記事



北海道新聞 H28. 10. 18 掲載記事

27年度の取り組みは、函館新聞、北海道新聞に掲載された。28年度は新たに8事業所にポスター掲示を依頼し、保育所でも告知活動を行った。上ノ国町広報誌、北海道新聞に掲載され、昨年度よりも多くの古着が本校に続々と届けられた。

【参考資料5】海外研修（地域の経済的支援による毎年5名の派遣）



北海道新聞 H27. 12. 25 掲載記事



28年度は5名の2年生が参加。視察研修、学校訪問の他、ニュージーランドの自然や先住民民族について調査・研究を行い、小中学生を招いての報告会にて発表を行った。